

## 学校図書館活用取組事例

# 【西北】中泊町立中里小学校

令和7年度子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰受賞校

### 内容（1）なかよし読書（目的）児童が絵本や物語に触れる機会を多様化させるため。

- ・縦割り班の高学年が低学年へ（リーディングパディ）、学期に1回の読み聞かせ。学期毎にパディを代える。
- ・外部団体や教師による読み聞かせも実施。

### 内容（2）児童による主体的な読書活動（目的）読書への関心を向上させるため。

- ・図書委員会の児童による掲示板や放送機器、図書便りを活用した、お勧めの本や新刊の紹介。
- ・季節の読書イベントの実施。例>クリスマスビンゴと称して1～9までの分類番号のビンゴカードを作り、いろいろなジャンルの本を借りる。ビンゴになった人にはクリスマスオーナメントのコットンボールをあげる。

### 内容（3）認定証、読書賞による意欲の喚起（目的）読書率を向上させるため。

- ・国語の教科書に関連する本など、15冊を選定し、必読図書として学級に配置。完読した児童には認定証をあげている。
- ・学期ごとに読書を頑張った児童に読書賞を贈呈。表彰によって励ましている。

### 内容（4）学習との関連（目的）計画的に学校図書館を活用し、学習の基盤となる資質・能力を育成するため。

- ・辞書引き大会（3年生以上対象）では、単語を辞書から探して、ページとどの段にあったかを記入していき、5分間で何個見つけることができるかを競う。楽しみながら辞書の扱いに慣れることができ、学習に役立っている。
- ・学習との関連。学校図書館教育全体計画に基づき、学校図書館の機能を活用し、学習を深めている。

### 内容（5）読書環境の整備（目的）利便性を向上させ、読書の機会を向上させるため。

- ・令和5年度から中泊町が個人のタブレットで電子書籍の利用ができるよう整備。また、図書館のシステム化にともない、「ポケット図書館」を利用して、時間や場所を問わず自校の図書館の本が検索ができるようになり、より利用しやすくなった。

## 成果と課題

- なかよし読書では、高学年と低学年の微笑ましい様子が見られるなど、豊かな人間関係作りにも役立った。また、相手を意識して選書することにより、読書に広がりが見られた。
- クリスマスビンゴは、普段は読まない分野の本の魅力を知るなど、児童の主体的な活動の効果が見られた。
- 電子書籍の導入によって、時間や場所を問わず本を借りることができ、加えて音声読み上げ機能があることで、読書が身近になった。
- △取組を行わないとなかなか読書習慣が定着しないことが課題である。



〈なかよし読書〉



〈辞書引き大会〉



〈クリスマスビンゴ〉